

研究開発プログラム評価について

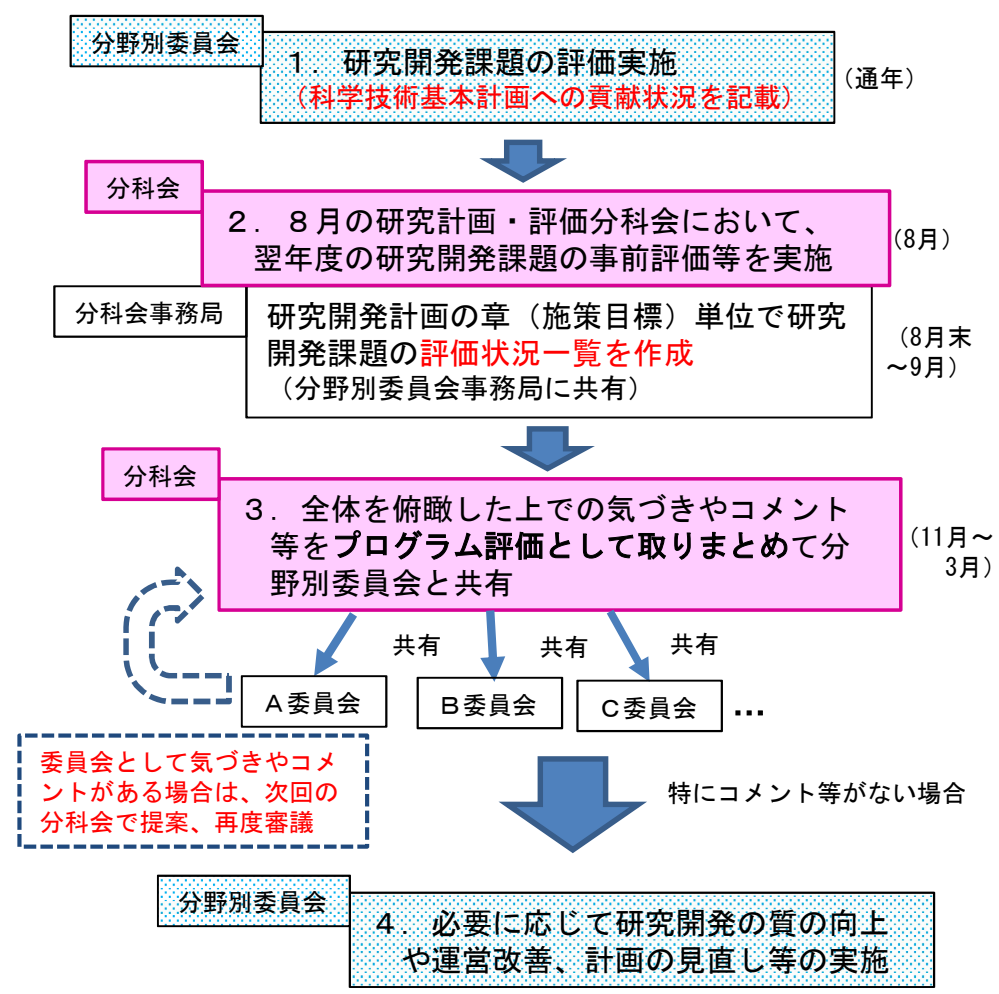
プログラム評価の目的

文部科学省の取組が施策目標の意図する方向に進んでいるかを研究開発プログラム単位で研究開発過程の有効性や効率性を確認し評価することで、研究開発プログラムの改善、研究開発の質の向上や計画の見直し等につなげる。

プログラム評価の実施方法（案）

1. 分野別委員会は、研究開発課題評価の際、研究開発課題の評価票（事前・中間・事後）に、研究開発プログラム評価のポイントとなる科学技術基本計画への貢献見込みや貢献状況を記載する。
（評価票の様式変更を実施予定：別添1）
2. 当分科会事務局は、8月に開催する分科会終了後、研究開発計画の開始年度からその年度までに実施した研究開発課題について研究開発計画の章（施策目標）単位で一覧として取りまとめ、分野別委員会事務局に共有する。
（研究開発評価実施状況の様式を策定予定：別添2）
3. 分科会において、全体を俯瞰しながら研究開発プログラムの効果を高めるための修正・改善方策等について気づきやコメント等を聴取し取りまとめる。（プログラム評価）
プログラム評価結果は、分野別委員会に共有する。

プログラム評価の流れ（案）



4. 分野別委員会においてプログラム評価結果を共有する。委員会として特段の気づきやコメントがある場合、当分科会にプログラム評価結果の改訂を提案する。当分科会は、再度審議しプログラム評価を改訂する。
5. 分野別委員会は、プログラム評価結果を踏まえ、必要に応じて翌年度以降の研究開発の質の向上や運営改善、計画の見直し等を行う。

検討が必要な事項

1. プログラム評価の実施要領の策定

プログラム評価の実施方法は、試行的に実施しながら適宜改善していくこととし、年度ごとに分科会として決定する。

2. 分野別委員会との関係

当分科会事務局は評価状況一覧を作成後、当分科会でプログラム評価を実施する。その結果については分野別委員会において共有するが、分野別委員会において気づきやコメント等がある場合は、当分科会でプログラム評価を再度審議し改訂することで、分野別委員会からの意見等も取り入れられる体制としてよいか。

3. 第5期科学技術基本計画のフォローアップ

2019年度上半期を目途に、第5期科学技術基本計画期間中に評価を行った事業について、分野別委員会において可能な限り科学技術基本計画への貢献状況をまとめられないか。

今後のスケジュール（案）

平成30年12月19日：第67回研究計画・評価分科会
プログラム評価票（研究開発課題実施状況一覧）の様式案決定
2019年度における研究開発プログラム評価の実施に係る要領案の検討

平成31年3～4月：第68回研究計画・評価分科会（第10期スタート）
「2019年度研究計画・評価分科会における研究開発課題の評価について」（仮称）の決定
（事前・中間・事後の評価票様式の変更等）
「2019年度研究計画・評価分科会における研究開発プログラム評価について」（仮称）
の決定（上記二つの一本化も検討）

2019年度～：プログラム評価開始